



大阪市の森ノ宮  
街宣 5月8日

## 「大阪都」構想学習会

講師 山中智子市議  
6月14日(土) 14時  
西区民センター

発行 大阪市学校園教職員組合

大阪府中央区法門坂1-1-35(大阪市教育会館内)

TEL 6910-8700 http://osaka-shikyo.sub.jp/  
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyol@sea.plala.or.jp



1200人の御堂筋パレード



中之島女神像前の集会



## 戦争への暴走STOP!!

### 9団体呼びかけ 御堂筋パレード1200人の熱気

戦争への暴走STOP!! 6・1御堂筋パレードが32度を超える暑い日差しの中行われ、「戦争反対! 憲法守れ! 9条守れ!」の熱いシュプレヒコールが沿道の歩行者や車に訴えかけられました。2時間近いパレードの間、道行く人にアピールのしおりを配り、パレードに参加してくださいと声をかけました。手を振った応援や、頑張ってくださいと大きな声がかかりました。

安倍政権は、政府の身勝手な解釈で集団的自衛権の行使容認を強行しようとしています。この動きに対して、党派を超えた反対の声が高まっています。集団的自衛権行使容認の動きに、世論調査では、「朝日」68%、「毎日」64%と多くの国民が反対をしています。自民党の元幹部や改憲派の憲法学者、歴代の内閣法制局長官など、「自衛隊の海外派兵」にかかわった人からも反対の声が上がっています。

パレードに先立って行われた、中之島の集会では、大阪弁護士会会長の石田法子さんが、「憲法改正の手続もとならないで、国民の意見も聞かないで憲法をずるいやり方で変えよ

うとするのは危険です。『この動きはおかしい』という声を大きくしていきましょう。私はぶれずに反対を続けたい」と訴えました。

◆採択されたアピールの抜粋  
私たちは、平和のために、多数の世論とともに、声の限りに、集団的自衛権の行使容認に絶対反対

### たんぽぽ 6月

5月のたんぽぽ会議では、『安倍教育再生STO P』の学習をしました。知らない間に戦争への道を進もうとしているのでは…平和な未来を守らないと…憲法は変えてはい

けない、といった意見がでました。大阪市教大会では吉岡さんが発言しました。青年部の取り組みや、原水禁大会で感じたこと、しんかんフエスタの実行委員長として頑張った

こと、職場での青年の置かれている状況などを元気づけました。先日、全教の青年部定期大会に参加しました。全国から集まってきた仲間と、それぞれの原のの様子や、青年の取り組みの話

できるなあと感じました。さて、6月6日には青年部総会(アネックスパル18時30分)があります。青年部の1年間のことを決める総会です。たくさん

の青年の参加、よろしくお願います。

し、「安倍政権の戦争への暴走STOP!!」を訴えます。皆さんとともに、世界の宝・憲法9条をいかに、平和を築きましよう!

核兵器は今解決しなければならぬ。自滅しないために核兵器を廃絶しなければならぬ。運動は痛みが分かっている人々が広がってきた。世界で一番人を動員しているのは原水協。日本政府は廃絶のじやまをしており、日本政府が無視できない運動を広げなければならぬ」と訴えました。

また、5月9日の関西電力本社の行動に大阪市の組合員が参加しました。

核兵器は平和文化に卒業しなければ人類は自滅する。中近東をはじめ40か国が核兵器を持つ力がある。使用か廃絶か。

5月17日 府民のびとく なくそつ核兵器

### 民間人校長更迭 撤回の説明 求める陳情採択

民間人校長が相次いで不祥事(13年度着任11人中2人処分、1人無責任な辞任、3人に問題)を起している校長公

### 橋下補正予算8.5億円削減

経費8億5千万円を維新の会を除く全党派の賛成で削減しました。橋下市長肝いりの東京裁判をテーマにした展示会の開催費や「大阪都」構想の広報費などを全額削減し、家庭系ごみ収集事業の民営化に向けた予算などを削減しました。

### 幼稚園14園民営化 再び否決

橋下市長が再提出した市立幼稚園14園を廃止・民営化する条例案を維新以外の党派で再び否決しました。

### 仲間が増えた!

合格突破講座参加者の青年が青年に声をかけ加入

採用試験突破講座での青年のつながりが、仲間を増やしました。昨年度の突破講座に参加して、組合加入し、正規採用された西大阪支部の青年Aさん。その値打ちを、同じ職場の青年講師のBさんに伝え、今年の突破講座に誘いました。参加したBさんも、「是非、加入したい! どうしたら入れるのですか?」と、交流会で加入。港支部の職場の先輩と参加した青年も、自分から加入書にサイン。南大阪では、組合員の息子さんが加入しました。城北支部の先輩の教え子や、東南支部では、ずっと声をかけてきた5年目の青年が加入するなど、つながりと地道な働きかけで、加入の花が大きく咲き続けています!